

単 元	年 組 番	
二年 話す・聞く	氏 名	

敬 語

◎尊敬語＝話し手・書き手が、敬意を表したい相手に対して、直接敬意を表す言い方。

「おっしゃる」「いらっしゃる」「召し上がる」「なさる」「ご覧になる」「くださる」など。

◎謙讓語＝自分(自分の側)の動作をへりくだる(低める)ことで、相手を高め敬う言い方。

「申す・申し上げる」「伺う・参る」「いただく」「いたす」「拝見する」「差し上げる」など。

◎丁寧語＝あらたまった言葉を用いて、話し全体を丁寧にする言い方。

「です」「ます」「ございます」など。

接続する語句

「だから」「しかし」のように、前に述べる内容と後に述べる内容をつなぐ言葉のこと。

◎順接＝前にある事柄が原因や理由になり、後にある事柄がその順当な結論や結果であることを表す。

【 だから・したがって・それで・それゆえ・すると など 】

◎逆接＝前の事柄と逆になるような事柄が、次にくることを表す。

【 しかし・けれども・だが・でも・ところが など 】

◎並列・累加(るいか)＝前にある事柄に対して、後にある事柄を並べたり、付け加えたりすることを表す。

【 それから・そして・また・なお・および・そのうえ・さらに など 】

◎対比・選択＝前にある事柄と、後にある事柄を比べたり、どちらかを選んだりすることを表す。

【 または・あるいは・それとも・もしくは など 】

◎説明・補足＝前の事柄についての説明や補いなどを表す。

【 つまり・ただし・すなわち・なお・なぜなら・例えば など 】

◎転換＝話題を変えることを表す。

【 さて・ところで・では・それでは など 】

接続する語句を適切に使うことによって、前に述べる内容と後に述べる内容の関係を分かりやすく表すことができます。



正しい敬語が使えることは、人と人がコミュニケーションをとるときに、とても大切です。普段の生活でも意識して正しい敬語を使いましょう。

